

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（統計情報総合研究））  
研究報告書

東日本大震災と保健医療統計の web サイト  
—基本構成と編集・公開手順の検討—

研究協力者	鈴木 茂孝	藤田保健衛生大学医学部コンピュータ情報処理学教授
研究分担者	川戸 美由紀	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座講師
	林 正幸	福島県立医科大学情報科学教授
研究代表者	橋本 修二	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座教授

**研究要旨** 東日本大震災と保健医療統計の研究成果等の情報を広く公表するために、「厚生労働科学研究 東日本大震災と保健医療統計」のwebサイト (<http://SHINSAI-STAT.umin.jp/>) を開設した。基本構成として、トップページの下に、「研究目的」「研究成果の紹介」「研究報告書」「研究班構成員」「リンク」を設けた。主要なコンテンツとして、本研究班の平成24年度総括・分担研究報告書などを掲載した。

#### A. 研究目的

研究成果の公表にあたって、様々なメディアがあり、その伝達手段も多様なものがある。その中で、インターネットを用いた web サイトによる情報開示は、時間と場所を選ばない高い利便性、資料作成から公開までの遅延が少ない、高い費用対効果が望めるなど、利点の多い方法の一つである。そこで、研究課題一つ「大災害と統計の情報の保存・提供」の一環として、本研究班の研究成果を広く一般に公開するための web サイトを開設する。

#### B. 研究方法

Webサイトの設置は、医学・医療系の情報保存、公開、共有の場として広く認知されているUMIN(大学病院医療情報ネットワーク)上とした。UMINの提供する2種類の一般公開ホームページサービスのうち、将来的な機能追加の可能性を担保するため、より高機能な“PLAZA”サービスを選択した。

Webサイトのコンテンツ作成には、HTML5規格を採用し、サイト内の各ページデザインを統一するためにCSSを用いた。

ローカルなweb編集PCで作成したwebコンテンツは、藤田保健衛生大学のイントラネット上に設置した動作確認webサーバに転送し、複数人により記載内容、表示、動作を検証した(図1)。閲覧に用いるデバイス、ブラウザ(閲覧ソフト)は多岐にわたるため、代表的な閲覧環境において、表示、動作が正常に行われるかを確認した。

以上の手順を踏んだ後、コンテンツをUMINサイトにFTP転送し、一般公開した (<http://SHINSAI-STAT.umin.jp/>)。

(倫理面への配慮)

本研究では、公表された資料のみを用いるため、個人情報保護に関する問題は生じない。

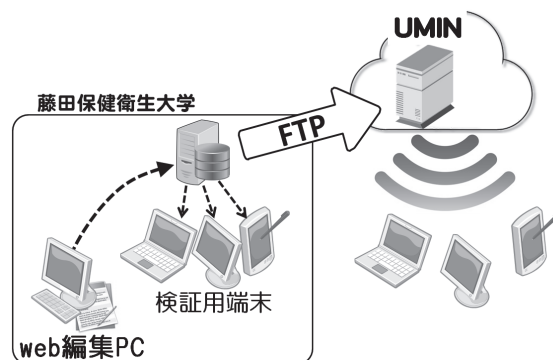


図1 web サイト作成環境

### C. 研究結果

ホームページに掲載する内容としては、トップページに続き、①「研究目的」、②「研究成果の紹介」、③「研究報告書」、④「研究班構成員」、⑤「リンク」とした。①「研究目的」には本研究班の研究目的（交付申請書に準ずる）を掲載した(図2)。②「研究成果の紹介」には今後、順次、研究成果の解説を掲載する予定である（現時点では「準備中」とした）。③「研究報告書」ページは、階層構造とし、年度別、分野別の総括・分担研究報告書の pdf ファイルを置き、閲覧、ダウンロードを可能とした。本年度は、「平成24年度」の層に、平成24年度総括・分担研究報告書を全てが一冊にまとめたものと、それを構成する17の分野別研究報告書を個別に置いた。④「研究班構成員」には、平成25年度の研究班構成員の氏名と所属の一覧表を示した。⑤「リンク」には、東日本大震災や保健医療統計などに関連するリンク先を掲載する予定であり、現時点では、厚生労働省の「厚生労働統計一覧」と「東日本大震災関連情報」のページを挙げた。各ページは、簡潔な構成を目指し、ページの階層も必要最小限とし、各ページの左サイドとヘッダ部分にサイト内リンクを配置した(図3-10)。

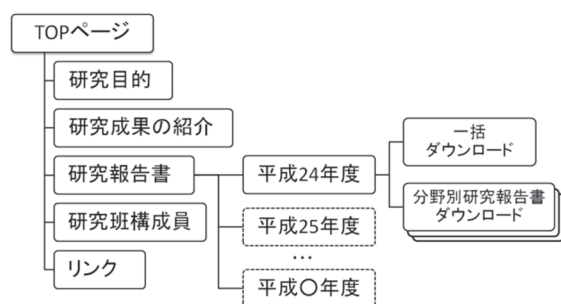


図2. webサイトの階層

検証した閲覧環境(OS、ブラウザソフトの組合せ)は、Windows Vista以降/I.E.9.0以降、Macについては、OSがLion以降/Safari、タブレット端末はiPad/Safariの組合せとし、追加ブラウザソフトとしてGoogle Chromeを加え

た。このいずれにおいても動作・閲覧が正常に行われることを確認した。

以上をもって、平成26年2月3日にwebコンテンツをUMINに転送し、公開を開始した。

### D. 考察

本研究班の研究成果をわかりやすく掲載し、広く一般に公開するために、webサイトを開設した。全てのwebコンテンツを研究班内で作成することにより、記載内容の追加、修正を含む更新作業を迅速に行うことができ、研究成果の公開までの時間を短縮できた。また、UMINのweb公開サービスのうち“PLAZA”サービスを選択したことにより、必要に応じて、データベース機能なども実装できるなど、今後の機能拡張も可能なweb公開環境としている。

### E. 結論

「厚生労働科学研究 東日本大震災と保健医療統計」のwebサイト (<http://SHINSAI-STAT.umin.jp/>) を開設した。webサイトの作成にあたって、検証用webサーバを用いることにより、公開前のコンテンツを複数人で閲覧し確認することができ、各種端末での表示、動作の検証も行うことができた。

### F. 研究発表

1. 論文発表  
なし。
2. 学会発表  
なし。

### G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得  
なし。
2. 実用新案登録  
なし。
3. その他  
なし。

図 3. トップページ

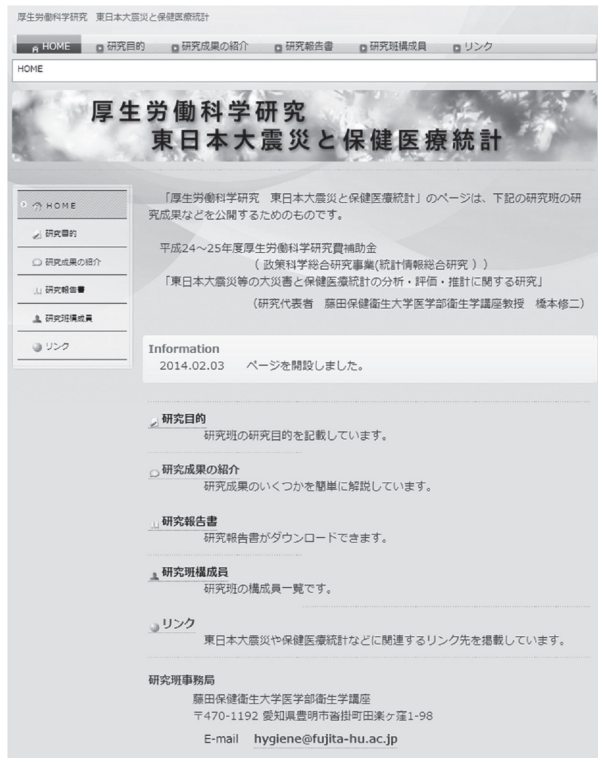


図 4. 「研究成果の紹介」ページ



図 5. 「研究目的」ページ

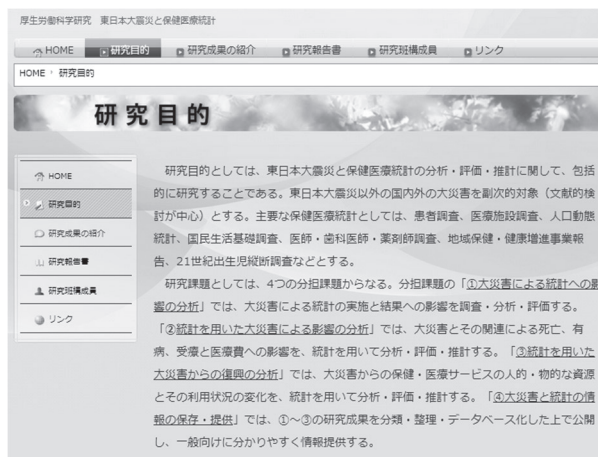


図 6. 「研究報告書」ページ



図 7. 「研究報告書(平成 24 年度)」ページ



図 8. 「研究報告書(平成 24 年度)」より、分野別研究報告書を閲覧した例

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（統計情報総合研究））  
分担研究報告書

大災害による統計への影響の分析（患者調査等）  
—大震災前の患者調査の解析—

研究分担者 村上 義孝 滋賀医科大学社会医学講座医療統計学部門准教授  
研究代表者 橋本 修二 藤田保健衛生大学医学部衛生学講座教授

**研究要旨** 大震災の患者調査等への影響について内容および大きさを示す3年計画の初年度として、平成20年患者調査の集計に着手し、特に被災3県(岩手県、宮城県、福島県)については沿岸部とそれ以外に分け、集計を実施した。都道府県別・傷病分類別患者数を男女別、年齢階級別(0-19歳、20-64歳、65歳以上)、患者住所別(岩手県、宮城県、福島県)に集計するとともに、救急告示ありの医療施設、災害拠点病院に限定した場合の受療者数についても合わせて集計を実施した。

**A. 研究目的**  
3年間の研究計画として、大震災の患者調査等への影響について、その内容および大きさを示すことを目標としている。初年度である本年は、大震災前の統計情報の解析として患者調査等の解析に着手し、次年度への準備を完了することを目的とした。

**B. 研究方法**  
大震災前の患者調査の解析を目的として、平成20年患者調査および平成20年医療施設調査を統計法第33条に基づいて、調査票情報の提供の申し出を行い、提供を受け実施した(厚生労働省発給1016第7号、平成24年10月16日)。集計にあたっては都道府県別集計のほか、岩手県、宮城県、福島県内を沿岸部・沿岸部以外に分けた解析も合わせて実施した。患者調査と医療施設調査は医療施設調査整理番号を用い突合し、沿岸部・沿岸部以外を分別する市区町村符号は医療施設調査のものを使用した。なお沿岸部に分類された市町村は以下のとおりである。(岩手県：宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町、宮城県：仙台市宮城野区、仙台市若林区、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、女川町、南三陸町、福島県：いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町)。

集計は受療者数を傷病分類別に集計することで実施した。使用した傷病分類は以下のとおりである；感染症及び寄生虫虫(000-099)、新生物など(C00-D48)、内分泌、栄養及び代謝疾患(E00-E90)、精神及び行動の障害(F00-F99)、神経系の疾患(G00-G99)、眼疾患、耳疾患、その他付属器系(H00-H59)、循環器系の疾患(I00-I99)、呼吸器系の疾患(J00-J99)、消化器系の疾患(K00-K93、PA201-PA211)、皮膚及び皮下組織の疾患(L00-L99)、筋骨格系及び結合組織の疾患(M00-M99)、腎尿路生殖器系の疾患(N00-N99)、妊娠、分娩及び産後(000-099)、周産期に発生した病態(P00-P96)、先天奇形、変形及び染色体異常(Q00-Q99)、他に分類されないもの(R00-R99)、損傷、中毒その他外因(S00-T98)、正常妊娠及び産後(000-099)の管理など(PA101-PA106)、歯のほてつなど(PA212-PA217)。

(倫理面への配慮)  
本研究では、連結不可能匿名化された既存の

図 9. 「研究班構成員」 ページ

厚生労働科学研究 東日本大震災と保健医療統計

HOME 研究目的 研究成果の紹介 研究報告書 研究班構成員 リンク

HOME 研究班構成員

### 研究班構成員

平成25年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（統計情報総合研究）） 東日本大震災等の大災害と保健医療統計の分析・評価・推計に関する研究

氏名	所属
研究代表者 橋本 修二	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座
研究分担者 村上 義孝	滋賀医科大学社会医学講座医療統計学部門
山縣 然太郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座
坂田 清典	岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座
鈴木 秀則	山崎白百合女子大学人権学部健康福祉学系
榊川 岳人	福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座
尾島 俊之	浜松医科大学健康社会医学講座
加藤 豊弘	愛知県健康福祉部健康担当参事
林 正幸	福島県立医科大学情報科学
(兼 事務局) 川戸 美由紀	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座
研究協力者 近藤 良伸	愛知県健康福祉部健康担当参事
廣崎 匡子	日本赤十字社広島看護大学地域看護学領域
鈴木 茂孝	藤田保健衛生大学医学部コンピュータ情報処理学
松田 裕六	国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計研究部地域がん登録課
中村 真治	愛知県健康福祉部健康危機管理研究部
鈴木 孝次	山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座
中村 秀子	浜松医科大学健康社会医学講座
月野木 礼志	大原医科大学看護学部公衆衛生看護学領域
徳嶋 真沙子	東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野
三浦野 秋子	自治医科大学情報センター医学情報学
鎌山 由香	岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座
渡又 清文	東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野
山田 宗敏	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座

HOME 研究班構成員

図 10. 「リンク」 ページ

厚生労働科学研究 東日本大震災と保健医療統計

HOME 研究目的 研究成果の紹介 研究報告書 研究班構成員 リンク

HOME リンク

### リンク

厚生労働統計一覧  
統計調査の名称、内容、統計表、公表予定、実施担当部署を分野別に参照することができます。  
厚生労働統計一覧

東日本大震災関連情報  
被害状況および対応、健康・医療、食品・水道、災害救助・生活支援、雇用・労働、社会保険・労働保険福祉・介護、その他について掲載されています。  
東日本大震災関連情報